

福祉だより



●発行/北六甲台地区社協 ●発行日/偶数月 ●編集/北六甲台地区広報部 ●配布エリア/北六甲台・上山口東

第95号
平成29年10月26日

西宮市北六甲台地区
社会福祉協議会
会長 日高 昭夫



「尊厳を持って最期まで自分らしくありたい」これは誰もが望むことですが、この願いを阻み、深刻な問題となっているのが「認知症」です。団塊の世代が高齢者になる二〇二五年には、高齢者の五人に一人が認知症になると言われています。身近な人が認知症になったとき、誰しもショックを受け、戸惑い、混乱するでしょう。本人及び家

山口地域包括センター長 武藤つばみ

第一部 認知症発症時の介護保険手続き

族が安定した日常生活を送るために介護保険サービスの利用も一助になりますが、認知症の人への援助は、地域の方が認知症の障害について正しく理解することから始まります。地域で勉強会を行い、支援の在り方について学んだり、交流が持てるような居場所を作ったりして、地域で見守り、支え合うことが大切です。

住み慣れた地域で、いつまでも元気に安心して暮らせる北六甲台と上山口東。そんな地域になることを期待しています。



緩和ケアは、悪性新生物（癌）の診断があったとき、治療と同時に始まります。緩和ケアは、医師と看護師だけでなく、複数の役割の方により、痛みなどの身体的苦痛のほか精神的苦痛や社会的苦痛、スピリチュアルペインといった様々な苦痛に対応するものです。

病院での治療が行き詰まり、緩和ケア主体の状態になったときには、住み慣れた自宅での療養が

山口おがぎクリニック院長 岡崎賢治

第二部 自宅での看取りと緩和治療

選択肢の一つとなるでしょう。現在、北六甲台・山口地域でも複数の在宅医、訪問看護ステーション、ケアマネージャー（介護サービスの調整役）が、近隣の基幹病院（後方支援病院としての役割）と連携して、在宅でのチーム医療を行っています。

在宅医療途中で状態が悪化したり、家族が疲弊したりすれば、いつでも病院への入院が可能です。

しかし、在宅診療をするためには、まだまだ家族が担う役割が多く、家族の自立心や治療に対する理解が必要です。

希望通りの最期を送るには、日頃から情報収集や家族間の意思確認が大切です。

地域に、子どもたちの居場所を！

「放課後子ども教室」代表 田村信道さん



毎月第二・第四月曜日の午後一四時半～一六時半。北六甲台小学校の図書室には、授業を終えた子どもたちが集まります。この「放課後子ども教室」の代表をされているのが北六甲台にお住まいの田村さん。九月初の「放課後子ども教室」にお邪魔し、お話を伺いました。

田村さんは、今から約五年前、市の「西宮市子供の居場所づくり事業」の委託事業として活動を始められました。当初は、どのくらいの人数が集ま

るか気掛かりだったようですが、現在は、児童三八人が通い、賑やかです。学期ごとに希望者を募っているそうです。

「子どもたちに自主的に行動して欲しいので、何かをしなさいと指導することはしていない」とのことですが、子どもたちは、図書室に入ると机に向かい、宿題に取り組みます。宿題が終わると、運動場で遊ぶ子、スタッフと工作を楽しむ子、図書室の本を読む子など、思い思いに自分の時間を満喫している様子でした。

共働き世帯が増え、家に帰っても待つ人がいない子どもや異年齢同志で遊ぶ機会が減っている今の子どもたち。そんな子どもたちに「地域で安心

上山口東防災訓練

十月八日（日）、山口丸山公園で「上山口東自主防災会」による避難訓練が行われました。

訓練は、「上山口二丁目、山口中学校付近で火災発生。季節風の影響で、類焼のおそれがあるため、山口丸山公園に避難する」という設定で、各班ごとに避難を行うところから始まりました。

午前十時頃、丸山公園に避難できたことを確認したあと、三グループに分かれ、①心肺蘇生法及びAED取り扱い訓練、②初期消火訓練及び消火

栓取り扱い訓練、③担架搬送及び応急救護訓練が実施されました。

体験後、非常用に備蓄している「α化米」と「豚汁」の炊き出し訓練で、非常食の試食を行いました。

最後に、山口消防署長の好評をいただき、防災訓練を終了しました。

（坂下副会長）



豚汁と炊き込みご飯の“炊き出し”もありました



文化祭のご案内

【北六甲台自治会】
日時：11月2日（木）～5日（日）
場所：北六甲台コミュニティーセンター・自治会館

【上山口東自治会】
日時：11月11日（土）～12日（日）
場所：上山口2・3・4安心コミュニティプラザ

北六甲台文化祭講座

講座はふれあふコロ

開催日十一月三日（金・祝）
時間十時～十一時
会場コミセンA室

講師：日高昭夫（郷土史研究家・山口公民館講座講師）

第二のふるさと（子どもたちのふるさと）山口を豊富な画像でビジュアルに紹介します。



今回は、西宮市北六甲台地区社会福祉協議会主催の「敬老のつどい」にご招きいただき、「とな

おなじみの曲のメドレー

私たちは、三田市を拠点に活動している吹奏楽団で、二年前に結成しました。結成当初は二十名程度だった団員も、現在は三十四名に増え、各地で楽しく音楽の演奏会を開催し、活動しています。

オーケストラの紹介

こんにちは。ユートピアウインドオーケストラと申します。

温かくて楽しい演奏会場

私たちの吹奏楽の演奏会とは違った演奏依頼の会場ということで、誰もが知っている、もしくは、聞いたことのある曲を団員で選びました。



ふるさとの合唱

最後の曲「ふるさと」では、会場の皆様と一緒に大合唱をして無事、終わることができました。とても温かくて楽しい会場でした。また、今後の機会があれば演奏したいなと思いました。

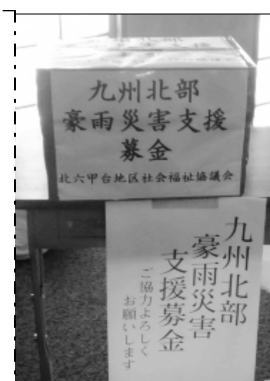


コンサートの際は、皆さんが楽しみにしている抽選会です。役員が抽選箱から番号を取って読み上げる毎に、真剣なまなざしで受付でもらった番号と照らし合わせ、一喜一憂されていました。「一等から三等まで、当選された方、おめでとうございます」 「賞品が当たらなかった方、ご安心ください。参加賞がある

お楽しみ抽選会

今後の活動
オーケストラの今後の活動予定ですが、十二月二十三日午後六時三十分から、「郷の音ホール」の小ホールにてコンサート

〈支援募金総額〉	
盆踊り	4,585円
福祉フォーラム	10,930円
敬老のつどい	2,100円
計	17,615円



※会場の一角では、九州北部豪雨災害支援募金も行われました。

(広報部 小出 晴浩)

りますから」。皆さん、にこやかな表情で会場を後にされていました。また、来年もお元気な顔が見られますよう、スタッフ一同お待ちしております。

トを開催しますので、ぜひ、聴きにきてください。この度は、素敵な会にご招待いただき、ありがとうございました。 (ユートピアウインド オーケストラ 代表)

赤い羽根募金報告

十月六日と七日の午前十時から午後二時半まで、両日とも雨で寒い中、総勢三十七名の方に啓発活動をして頂き、感謝致します。また、募金をして頂いた方々、ありがとうございました。 (募金事業部 中野 陽子)



募金にご協力ありがとうございました！

赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございました

万代	10,183円
コープ西宮北	21,447円
合計	31,630円

「敬老のつどい」の在り方の見直し

会長 日高 昭夫



北六甲台地区に社協が発足して二年目を迎えます。発足以来、「敬老のつどい」は大勢の元気なお年寄りの交流と憩い場として定着してきました。

ところが二〇年を経て、ファミリー中心の人口拡大の街は、今や人口減少の超高齢社会に様変わりしました。地域でも元気がないお年寄りが増えてきました。「敬老のつどい」の参加者が第一回の五五〇人から昨年の一五〇人にまで減少したのもその表れのひとつではないかと思っています。

地区社協の活動も、元気でないお年寄りの見守りや寄り添いが重要なテーマになりました。そのため安心キットの導入、家事支援の有償ボランティア・よりよいサポートの実施、福祉ネットの立上げなどの新たな活動に着手してきました。今後更に在宅ケアや認知症サポート等の新たな活動が求められています。

第十二回 敬老のつどい



閉会挨拶
生田副会長



司会
坂下副会長



「敬老のつどい」に向けて、朝の時間や音楽の授業時間に位置づけ、四年生の児童は歌やリコーダーの練習を頑張っていました。子どもたちは歌が好きで、今回は二曲歌わせていただきました。どちらの曲も元気が出る曲で、子どもたちは、最初の出だしの声をしっかりと出すことや歌の歌詞に気持ちを込めて歌う練習をしてきました。リコーダーは、音色を一つに揃え、タンギングという技法を意識して練習してきました。



本番では、日頃自分たちが住む地域を支えて頂いている方々に感謝の気持ちを伝えようと、四年生の有志約六〇名が「敬老のつどい」で演奏を行いました。子どもたちは大勢の方を前にして、とても緊張していましたが、よく頑張りました。最後までしっかりと演奏することができました。

敬老のつどいに参加して

北六甲台小学校 第四学年担任一同

ました。演奏後は、最後までやり切った達成感でどの子どもともとてもいい表情をしていました。

普段、なかなか地域へ貢献する機会が少ない子どもたちが、こういう場に招待して頂き、貴重な体験となりました。ありがとうございました。